

## 教育研究業績

学部： 芸術学部      学科： 芸術学科  
 領域： 美術領域

氏名	中田 ナオト (直人)	職名	契約准教授
教育活動	[学部] 美術実技 1-1 (アイデアとエスキース・ドローイング)、美術実技 1-6 (陶芸)、美術演習 3-4 (プレゼンテーション)、美術実技 3-7 (陶芸・ガラス)、美術実技 4-4 (陶芸・ガラス)、卒業制作 (CAP・版画・平面)、卒業制作 (彫刻、陶芸・ガラス)、学外演習 I、学外演習 II [大学院] 大学院クラフトデザイン演習、造形研究 工芸制作研究		
学位	芸術学士 (名古屋芸術大学) 芸術修士 (多摩美術大学大学院)		
学歴	平成 10 年 3 月 名古屋芸術大学美術学部デザイン科 卒業 平成 10 年 4 月 多摩美術大学大学院博士前期 (修士) 課程美術研究科 入学 平成 12 年 3 月 多摩美術大学大学院博士前期 (修士) 課程美術研究科 修了		
職歴	平成 13 年 4 月 多摩美術大学 美術学部 工芸学科 陶研究室 副手 (平成 15 年 3 月まで) 平成 15 年 4 月 多摩美術大学 美術学部 工芸学科 陶研究室 助手 (平成 17 年 3 月まで) 平成 17 年 4 月 共立女子大学 家政学部 絵画専攻 非常勤助手 (平成 19 年 3 月まで) 平成 18 年 4 月 多摩美術大学 美術学部 絵画学科 油画研究室 非常勤講師 (平成 19 年 3 月まで) 平成 19 年 4 月 多摩美術大学 大学院研究室 助手 (平成 25 年 3 月まで) 平成 27 年 4 月 多摩美術大学 美術学部 工芸学科 陶研究室 非常勤講師 (平成 30 年 3 月まで) 平成 29 年 4 月 町田市立木曽中学校 講師 (平成 30 年 3 月まで) 平成 30 年 4 月 名古屋芸術大学芸術学部芸術学科美術領域 准教授 (現在に至る)		
専門分野	陶芸、陶造形、インスタレーション、現代美術		
研究課題	やきものからやきことへ。象徴的なものをめぐって世界の見方や社会との関わりについて考察し、美術と工芸、情報と実在を横断する表現を展開。自己に芽生えた衝動を、感覚ともと言葉の関係性をふまえながら、他のメディアとの融合によるハイブリッドな表現としてのやきものを通じて「心」と「体」と「頭」の一連の運動により試していきたいと考えています。		

教育研究業績	<p>[論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「やき「もの」、やき「こと」」 (単著) 多摩美術大学研究紀要第 23 号 (平成 21 年 3 月)</li> <li>・ 「超普通-愛知、金沢、ミネアポリス」 (単著) 多摩美術大学研究紀要第 27 号 (平成 25 年 3 月)</li> <li>・ 「複製をめぐるひらめきの置換」 (単著) 多摩美術研究 (平成 25 年 3 月)</li> <li>・ 「カメラと窯」 (単著) 多摩美術大学研究紀要第 31 号 (平成 29 年 3 月)</li> </ul>
	<p>[個展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「-overflowing-」 (フタバ画廊/東京) (平成 12 年)</li> <li>・ 「"nothing out of the ordinary"」 (目白オープンギャラリー/東京) (平成 15 年)</li> <li>・ 「-魔法使い-」 (ギャラリー東京ユマニテ lab/東京) (平成 17 年)</li> <li>・ 「尤もなこと」 (ギャラリーオカベ/東京) (平成 18 年)</li> <li>・ 「TWINS (SAN-AI GALLERY + contemporary art/東京) (平成 21 年)</li> <li>・ [2011 ミネアポリスへの旅] (SAN-AI GALLERY + contemporary art/東京) (平成 25 年)</li> <li>・ 「中田ナオト-出会いとひらめきの信楽時間-」 (滋賀県立陶芸の森陶芸館ギャラリー/滋賀) (平成 28 年)</li> </ul>
	<p>[グループ展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「0 × 100=」 (galeria de muerte) (平成 20 年)</li> <li>・ 「THE HOUSE 現代アートの住み心地」 (日本ホームズ住宅展示場/東京) (平成 20 年)</li> <li>・ 「☆☆☆☆☆☆-石との饗宴- (STONE PLAZA 石の美術館/栃木) (平成 20 年)</li> <li>・ 「中村錦平さんの ねんど/やきもの劇場 (4 人のホープ+船橋のこどもたち)」 (ふなばしアンデルセン公園 子ども美術館/千葉) (平成 20 年)</li> <li>・ 「庭の芸術 (the yard art) -思考の再演- (ROOF GALLERY 玉川高島屋 S・C/東京) (平成 20 年)</li> <li>・ 「ユマニテラポ小品展」 (ギャラリー東京ユマニテ lab/東京) (平成 20 年)</li> <li>・ 「ニュータウン☆パラダイス -遺跡とマンションの間で- (横浜都筑民家園/神奈川) (平成 20 年)</li> <li>・ 「「トッテのある形」展」 (多治見市文化工房ギャラリーヴォイス/岐阜) (平成 20 年)</li> <li>・ 「告白の作法 -ひとから、ひとへ-」 (多摩美術大学工芸棟ギャラリー、共通教育センターギャラリー/東京) (平成 20 年)</li> <li>・ 「真夏の夢」 (椿山荘/東京) (平成 21 年)</li> <li>・ 「都筑アートプロジェクト 2009 ニュータウンピクニック～遺跡をめぐるアート～」 (横浜市歴史博物館、大塚歳勝土遺跡公園 都筑民家園/神奈川) (平成 21 年)</li> <li>・ 「Art Session TSUKUBA 2009 展 磁場-地場」 (平沢宮衛歴史ひろば 茨城県つくば美術館) (平成 21 年)</li> </ul>

- ・「DANDANS at No Man's Land」 (旧フランス大使館/東京) (平成 22 年)
- ・「ねんどやきもの劇場 5人のホープと石川のこどもたち」  
(金沢 21 世紀美術館/石川) (平成 23 年)
- ・「アーツチャレンジ 2011」 (愛知県芸術文化センター/愛知) (平成 23 年)
- ・「New Millennium Japanese Ceramics: Rejecting Labels & Embracing Clay」  
(Northern day center/ミネアポリス U.S.A)(平成 23 年)
- ・「わんのある形展」 (多治見市文化工房ギャラリーヴォイス/岐阜) (平成 24 年)
- ・「7 MaKnight Artists」 (Northern clay center/ミネアポリス)(平成 24 年)
- ・「えねるぎい ふお アーティストの視点から (ヒルサイドフォーラム/東京)  
(平成 25 年)
- ・「トツテのある形 part 2 展」 (多治見市文化工房ギャラリーヴォイス/岐阜)  
(平成 26 年)
- ・「10 にまつわるエトセトラ」 (青木スタジオ/東京) (平成 26 年)
- ・「都筑アートプロジェクト ニュータウンゴースト -遺跡とアート-」  
(大塚歳勝土遺跡公園/神奈川)(平成 27 年)
- ・「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今-伝統と革新」  
(フレデリック・マイヤーガ-デンズ&スカulptチャーパーク・アメリカ合衆国)  
(平成 27 年)
- ・「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今-伝統と革新」  
(滋賀県立陶芸の森 陶芸館/滋賀)(平成 28 年)
- ・「よいの形展」 (多治見市文化工房ギャラリーヴォイス/岐阜) (平成 28 年)
- ・「アニマル展 II」 (ギャラリー数寄/愛知) (平成 28 年)
- ・「現在形の陶芸 萩大賞 IV」 (山口県立美術館・浦上記念館/山口)(平成 28 年)
- ・「第 24 回日本陶芸展」 (大丸東京店/東京・大丸心齋橋店/大阪・茨城県陶芸美術館/  
茨城・西日本総合展示場/福岡)(平成 29 年)
- ・「d a n d a n s アーカイブ展 (個人邸宅/東京) (平成 29 年)
- ・「第 114 回有田国際陶磁展」 (佐賀県立九州陶磁文化館/佐賀) (平成 29 年)
- ・「アジア国際友好展 2017-クロスアジア・クロスアイデンティティ」  
(エコ・ギャラリー新宿/東京) (平成 29 年)
- ・「種子島宇宙芸術祭」(種子島)(平成 29 年)
- ・「第名古屋電脳博覧会 2017」(名古屋市民ギャラリー矢田/愛知)(平成 29 年)
- ・「すきな形」 (ギャラリー数寄/愛知) (平成 29 年)
- ・「The 3rd Cluj Ceramic Biennale」  
(ルーマニア) (平成 29 年)
- ・「ボードレス展」 (アトラボあいち/愛知) (平成 29 年)
- ・「第 4 回ささま国際陶芸祭/静岡」(平成 29 年)
- ・「干支展」 (ギャラリー数寄/愛知) (平成 29 年)
- ・「アニマル展 III」 (ギャラリー数寄/愛知) (平成 29 年)
- ・名古屋芸術大学教員展 (名古屋芸術大学アート&デザインセンター/愛知)
- ・「わんの形 II 展」 (多治見市文化工房ギャラリーヴォイス/岐阜) (平成 30 年)
- ・第 54 回神奈川県美術展 (神奈川県民ホール/神奈川) (平成 30 年)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すきな形展（ギャラリー数寄／愛知）（平成 30 年）</li> <li>・ 瀧田家アートプロジェクト 2018 時の記憶（廻船問屋瀧田家／愛知）（平成 30 年）</li> <li>・ 旧加藤邸アートプロジェクト 2018 記憶の庭で遊ぶ（旧加藤家住宅／愛知）（平成 30 年）</li> <li>・ 干支展（ギャラリー数寄／愛知）（平成 30 年）</li> <li>・ アニマル展Ⅳ（ギャラリー数寄／愛知）（平成 30 年）</li> </ul> <p>[コレクション]</p> <p>マラ工科大学（マレーシア）、ノーザンクレイセンター（アメリカ合衆国）</p> <p>[レジデンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MALAYSIA-JAPAN ARTS EXCHANGE 2005（マラ工科大学／マレーシア）（平成 15 年）</li> <li>・ McKnight Artist Fellowships for Ceramic Artists（ノーザンクレイセンター／アメリカ合衆国）（平成 21 年）</li> <li>・ アーティスト・イン・レジデンス（滋賀県立陶芸の森／滋賀）（平成 28 年）</li> </ul> <p>[コミッションワーク]</p> <p>ベネッセコーポレーション東京本部社屋</p>
所属学会 団体等	特記事項なし
社会的活動	特記事項なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 5 回日清食品現代陶芸 [めん鉢] 大賞展 新人賞（平成 9 年）</li> <li>・ '97 鬼かわらコンクール 審査員特別賞（平成 9 年）</li> <li>・ マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今-伝統と革新 陶芸の森特別賞（平成 27 年）</li> <li>・ 現在形の陶芸 萩大賞展Ⅳ 佳作（平成 28 年）</li> <li>・ 第 3 回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ 審査員特別賞（秋山陽賞）（平成 31 年）</li> </ul>